

## 《教師としていかに生きるか》

【相談指導員：源田 洋二郎】

教師になってみないと分からないことの一つに、教えること以外の仕事の多さがあります。学級・学年の仕事、分掌（教務、生活指導など）の仕事、学校行事の仕事など、山ほどと言っても言い過ぎではありません。しかもそのどれをとっても満足いく内容にするには、研修と経験、教師どうしのコミュニケーションから学ぶことが肝要です。レベルの高い取り組みは、よりよい生徒を育てることに直結します。よく考えて、生徒の現状を把握しながら時間をかければ確実によい教育活動につながります。しかしそのことに没頭しすぎて、自分自身の心や体の健康を損なう教師が多いことも現実です。自分ではそれほど気が進まなくとも、管理職などから強制されて取り組む仕事もあります。自分としての限界を越えてもなおその仕事をやり続けることで、自分自身のエネルギーを奪ってしまうこともあります。私が 20 代の講師の頃は、「若いときの苦労は買ってでもしろ。」と言われましたが、今の時代は少し違うと思います。やる気や努力は勿論大切ですが、この仕事を長く続けるには、あまりの仕事の多さを前に立ち止まって、ちょっと一息ついて、他の学校の友人や労働組合に相談したりすることも必要です。また「立ち止まる」ことは若い人を指導する先輩教師や管理職にも大切なことであると思います。

生徒はかわいいし、どの生徒も「自分の力をつけたい、褒められたい。」と思っています。その若い伸び盛りの若人の後ろには、十数年優しい目で見つめている保護者の方がいます。時には生徒や保護者とぶつかることはありますが、その子を伸ばしたいという気持ちは教師と同じです。この仕事を数十年にわたって続けていくためには熱と意気も必要ですが、第一に、私達の心と体の健康が大切であると今振り返って思います。

## ※2026年度新3年生へ

## Web履修カルテの確認について

※期限までに Web 履修カルテを入力完了してください。

■【カルテ入力期限】～2026年4月13日(月) ・ ・ 期間厳守！期限後の入力不可

■【教員確認後、カルテ閲覧可能期間】2026年5月20日(水)～

※紙版履修カルテを使用している方は、上記期限までに教職課程センター多摩相談室へ直接提出してください。

◇教職課程センターHP：[https://www.hosei.ac.jp/kyoushoku\\_katei/](https://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/)◇(多摩)教職・資格まとめ HP：<https://www.hosei.ac.jp/tama/important/article-20260203145507/>

## ◎教職相談の申し込み、質問はこちらへ

★窓口へ来室、もしくはメールにて事前申し込み★

メールは、公的な依頼文にふさわしい文体・体裁を考え、かつ以下の内容を必ず盛り込むようにして下さい。

- ①氏名 ②学部・学科 ③学年 ④学生証番号 ⑤面談希望時間（第3希望まで）  
⑥相談内容 ⑦メールアドレス（PCから受信可能なもの）を必ず記入してください。

\*宛先：(教職課程センター多摩相談室) [kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp](mailto:kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp)

(\*こちらのメールアドレスは3月末をもって終了し、4月より新しいメールアドレスをご案内します。)

※教職履修・単位に  
関わる質問は、所属  
学部窓口へお願い  
いたします。